

愛媛県がん診療連携協議会 令和5年度第2回がん登録専門部会 議事録

日時：令和6年1月22日（月）14：00～16：00 開催方法：Web 会議

進行：寺本典弘（四国がんセンター） 議事録：風本大二郎（松山市民病院）

参加施設：県庁、四国がんセンター、松山赤十字病院、済生会今治病院、
住友別子病院、市立宇和島病院、愛媛大学医学部附属病院、
愛媛県立中央病院

HITO 病院、愛媛労災病院、十全総合病院、済生会西条病院、
松山市民病院、済生会松山病院、市立八幡浜総合病院

<<議題>>

1. あいさつ 【四国がんセンター：寺本】

◇ 全国がん登録

2. 全国がん登録システム不具合に関する報告 【愛媛県がん登録室：白岡】

● 原因

- 院内がん登録は2020年診断症例からICD-O-3.2へ移行。
- 全国がん登録システムにICD-O-3.2導入。
→導入前のICD-O-3.1で登録を行った症例、古い診断年の集計データ等に影響を与えた。

“本当のところ何が起きているのか、何故起きているのか、何故解決にこんなに時間がかかるのかは解らない”（寺本）

● 現状

- 2019年診断症例までのデータをICD-O-3.1に戻した。
- 2020年診断症例をICD-O-3.1で再度集計・確定するための作業を国立がん研究センターで行っている。

● 影響

- 愛媛県がん登録室：各施設からの届出の入力作業は行えているが、届出の照合・集約作業、遡り調査が行えない。2020年診断より新しいデータの集計やデータが利用できない。
- 拠点・推進病院：遡り調査は2024年3月末までは行わない。遅れた2023年分の遡り調査をどの時期に行うか未定。

- ICD-O-3

- 今後、全国がん登録のICD-O-3が3.1か3.2になるかは未定。（院内がん登録のルールとは別）

- お願い

- 国立がん研究センターから1/17に全国がん登録室に対して2020年診断の届出票確認・照合・集計作業の依頼がきたため、届出施設に確認が発生することが想定され、問い合わせ等が発生した場合は各施設協力を要する。

◇ 院内がん登録

3. 全国がん登録データ利用申請新様式に関して【愛媛県：田坂】

愛媛県がん対策推進計画に関して

- 全国がん登録の利活用

- 収集された全国がん登録の利用（法第17～21条）
 - ・ 国（法第17条）や地方公共団体（法第18、19条）のがん対策に必要な調査研究のための利用・提供。
 - ・ がん医療の質の向上等に資する研究調査を行う者への提供。（法第21条）
→法第17、18、19、21条においては、有識者による会議で審議が必要。
 - ・ 届出を行った病院等への生存確認情報の提供。（法第20条）
→法第20条においては、有識者会議での審議は不要。
- 病院等への生存確認情報の提供（法第20条）。
 - ・ 都道府県知事は、当該病院等の管理者から届出がされたがんに係る都道府県がん情報の提供の請求を受けた時は、その提供を行わなければならない。
→情報提供にあたっては事前に適切な管理や目的外利用の禁止、秘密漏えいへの対策を整える必要が求められる。
 - ・ 現在策定中の次期愛媛県がん対策推進計画においても重要な位置付け。
 - ✓ 本県独自の取組みとして、がん登録を活用した研究の推進。
 - ✓ 分野別目標及び対策として、がん登録の充実と活用促進。
- 全国がん登録情報提供の申請について（法第17～21条）
 - 「愛媛県がん情報及び匿名化が行われた愛媛県がん情報の提供に関する事務処理要領」に基づき提供。国のマニュアルの改訂に伴い変更（R5.12.28）を行った。
 - 20条申請（病院等への生存確認情報の提供）に関してはほとんど変更なく、審査は基本的に形式点検となる。

- ▶ 申請書について
 - ・愛媛県のHPに全国がん登録についてのページがあり、各種様式がダウンロードできる。
 - ・20条申請（病院等への生存確認情報の提供）について
 - ✓様式第2-2号（情報の提供申出文書）、様式第2-3号（誓約書）を提出。
 - ✓様式第2-2号における安全管理措置状況の項目は、院内がん登録の場合は、「院内がん登録運用マニュアル」に従った管理をしていればよく、全てにチェックが付かなくても構わない。※調査研究の場合(21条)は全てにチェックが必要
 - ✓ただし、チェックが付かなかった項目については、下の空欄に当該項目に係る管理方法と、各施設で定める院内がん登録の規定に沿った措置である旨を記載すること。なお、各施設の院内がん登録規定の添付までは求めない。
- 愛媛県がん対策推進計画の概要（案）
 - ▶ 本県独自の取組みとして、地域課題の把握と対策の立案のため、がん登録を活用した研究の推進が盛り込まれている。
 - ・現状・課題として、登録件数や精度指標は、地域がん登録時代と比較すると大きく向上しており、今後はがん登録を愛媛県独自の課題の抽出や注力すべき研究分野の絞り込みなどに活用し、効果的ながん対策に繋げていくことが求められる。
 - ・取り組むべき対策として、がん検診データとがん登録制度の連携によるがん検診の精度向上と地域別・がん種別のがん診療拠点・推進病院占有率を踏まえた対策の検討。

4. 院内がん登録実施規定、委員会開催、オプトアウトに関する報告

【四国がんセンター：百済】

- 各施設に規定、委員会の開催、オプトアウトの窓口設置について事前確認を行った。
 - ▶ 前回の専門部会から4つの施設が規定等の整備を行っており、まだ整備ができていない施設もあった。
- 法令に基づいた院内がん登録実施体制
 - ▶ 情報収集を行った過程で、『院内がん登録運用マニュアル』や『院内がん登録の実施に係る指針』で求められている内容が規定類に記載されているか確認する必要があり、これまでの情報収集では、県内の状況を十分に把握できていないことが分かった。

- 自施設の整備状況を再確認するためのチェックリストを作成した。各施設で再確認をお願いしたい。再確認後の整備状況は、改めて情報収集を行う。
- これらの整備を整えておく事は、各施設が院内がん登録を実施する時点で求められている事であることを十分に理解しておくことが必要。
- 実務者では整備が進められない施設があれば、専門部会等を利用して状況を報告いただきたい。
- オプアウト窓口の整備状況
 - 既に、患者さんはいつでも申出ができる状況であるため、早急に体制を整える必要がある。

5. 各グループ活動からの報告

- 試験対策企画 【四国がんセンター：百済】
 - 例年通りの活動に加えて新たな取り組みとして、9月にE-Breezeで持込み資料の工夫を共有した。
 - 参加者アンケートを実施し、個々の企画の評価は高かったが、企画全体の意見としては賛否が分かれた。
 - 既存の情報の活用を促す事が試験対策の後押しになると思われた。
- がん登録実務者の育成方法 【済生会今治病院：矢野】
 - 9・11月に活動。
 - 9月は、登録に必要な知識や体制に関する意見交換。
 - 11月は、提出チェックに引っかからないような項目を収集、データ提出前の施設の状況をアンケートし、報告。
- E-Breeze 【松山赤十字病院：田村】
 - 今年度、6回開催。
 - 登録以外にも診療報酬や試験対策などの内容もあった。
 - 自由参加のため、開催ごとに参加も増え、話をふれば発言も増えた。
- データ利活用 【四国がんセンター：大平】
 - 6/16データ活用ミーティング。
 - 11/7説明ポイント解説講座。
 - 1/20説明ポイント意見交換会開催。

→データ利活用については長期的な視点での検討が必要で、今後も活動は継続。
運営方法については検討。

- お悩み相談メーリングリスト 【四国がんセンター：大平】
 - 4件の相談あり、がん登録以外にも診療録管理などの内容もあった。
 - 今後は県拠点（四国がん）主導として継続していきたい。

- 6. 『がん登録でみる愛媛県のがん診療』に関して 【四国がんセンター：大平】
 - 愛媛県の全体集計は集計が完了し、各施設の担当者に分担してデータ確認依頼中。
 - 施設別集計の冊子は、校正が上がり次第、各施設に送って校正をお願いする。

- 7. 活動検討委員会からの報告 【四国がんセンター：百濟】
 - 活動実績
 - 年5回の活動で以下の検討を行った。（下線部については、次回以降検討予定）
 - ・活動説明会の振り返り、次回の課題
 - ・グループ活動の報告、評価
 - ・認定試験、更新試験後の情報収集
 - ・プロフィールシートの様式
 - ・次年度の専門部会活動の計画
 - ・試験対策企画、グループ活動の継続
 - ・次年度の活動検討委員会の計画
 - ・次年度の活動説明会の計画
 - 評価

これから予定している活動もあるが、概ね目標を達成できた。
 - 来年度の活動について
 - グループ活動は継続。
 - 各グループ活動は、リーダー、コアメンバー、参加者が共に協力し活動を行う。
→目標や具体的な活動計画は後日お知らせ
 - 専門部会への要望
 - プロフィールシートの様式変更の要望は無いが目的や活用方法、項目によっては何を記載すればよいか分かりづらいという声があった。
→プロフィールシートの説明を聞く機会を設けて欲しい。
 - 実務担当者を変更した際に、どの資料を参考にすればよいか分かりづらいため、専門部会として実務者担当者の交代時に引き継いで欲しい内容や年度スケジュールに沿って各実務者が行う業務内容の参考資料をまとめて欲しい。

→実務担当者の交代時に引継ぎを求める内容を提示する。

→年間の活動スケジュールに沿って、参考資料の所在を情報提供する。

● 専門部会への提案

- 認定・更新試験後の情報収集形式を現行の様式から、試験後アンケートと問題の収集を一本化。
- 試験対策企画の活動を、来年度以降、メンバーは募集せず部会全体への情報配信とし、その情報発信を県拠点の四国がんセンターが行う。個別の相談窓口は、がん登録専門部会事務局とする。
- Moodleのお悩みごと共有boxは休止する。
お悩み相談メーリングリストやE-breezeなど、他の情報共有の場を活用するよう案内する。

→上記3つの提案について今回の会議にて承認

◇ その他

8. 要件に係るような実務者交代時の事前連絡のお願い 【四国がんセンター：寺本】

- 指定要件に係るような実務者の交代に関しては事前連絡を！
- 中級実務者は勤務に関しては勤務表を作成しておくこと。
上記は報告会でも報告
- 指定要件
 - ・拠点病院は、指針に書かれた様々な要件・院内がん登録の実施。
 - ・推進病院は、県の要件では「指針に基づく院内がん登録の実施」であるが、単に実施ではなく、委員会設置・開催・報告。

9. 『がんサポートえひめ』について 【四国がんセンター：寺本】

- 愛媛県がん診療連携協議会が愛媛県より受託したがん情報サイト
- 2023年のアクセス数は4.8万件であり、2022年の倍となった
- 「がんサポートサイトえひめ拡大ワーキング」開催
- がんサポートサイトえひめは一応完成状態となったが協議会事業であるため、完成の報告・評価・検証が必要。
- 「がんサポートサイトえひめについて」の説明ビデオを見た上で意見をもらい相談。

10. 今後の協議会・専門部会に関して 【四国がんセンター：寺本】
- 協議会の体制変更
 - 協議決定を役員会から幹事会へ変更（予定）。
 - 今後の協議会活動年間スケジュール
 - 検討中であるが、各専門部会は現地開催の方向。
11. コロナ速報・国立がん情報センターの状態など 【四国がんセンター：寺本】
- コロナ速報を速報としては行わないが、データとして推移は追う。
12. CONCORD 4 と C I 5 に関して 【四国がんセンター：寺本】
- CONCORD4、12月に提出した。
 - CI5は2年前に提出したが、データが不十分なため不採用
 - CONCORD3は終了していたが日本データについて再集計したものが論文化される予定。
13. その他 【四国がんセンター：寺本】
- AJCC
 - 第9版からは“版/Edition”として一斉に変えるのをやめ、Versionとして臓器別に出す。
 - UICCTNMや癌取り扱い規約への影響は必至。
2023年秋、肺癌学会から2024年1月から規約第9版移行をアナウンス、移行準備を開始していたが時間が足りず断念。AJCCも24年開始を断念。
 - 国内の院内がん登録はUICC-TNM、第8版利用継続。

次回議事録担当：済生会松山病院